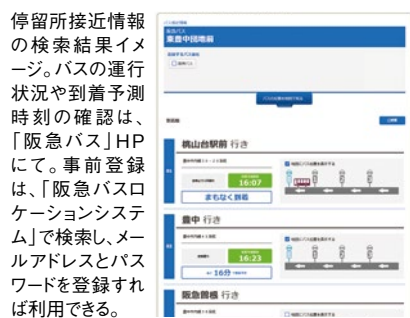


## 阪急バス 全路線で開始 運行状況などリアルタイムで確認

**阪**急バスは3月26日、大阪府下でのバスロケーションサービスの運用を開始した。バスロケーションサービスとは、スマートフォンやパソコンなどで、バスの運行状況や到着予想時刻をリアルタイムに確認できるシステムのこと。事前登録によって、停留所へのバス接近状況をメールで受け取ることもできる。利用者の要望を受けて2016年3月に京都府・大阪府島本町で運用をスタートし、順次対象エリアの拡大を進めてきた。今回新たにサービスを開始するのは、大阪市・豊中市・箕面市・池田市・吹田市・茨木市・高槻市・摂津市・豊能町。この導入によって、全路線でのサービス利用が



可能となった。また今回から、指定した停留所のバス接近情報を検索できる「接近情報検索」の機能を追加。バスの遅延時に「延着証明書」をホームページからダウンロードできるサービスの提供も開始した。

## 徘徊の高齢者を早期発見 見かけたら家族にすぐ連絡

**豊**中市は4月から、「高齢者みまもりあいステッカー」利用支援事業をスタートした。みまもりあいステッカー（愛称:ミモカ）とは、徘徊のおそれがある高齢者の衣服や持ち物に貼って使用するもの。発見者がステッカーに記載のフリーダイヤルに電話をし、自動アナウンスに従ってIDを入力することで、家族が事前登録した連絡先につながるという仕組み。両者は互いに個人情報を出すことなく直接話ができる。既存事業では、市が介在して協力員へ捜索の協力を呼びかける仕組みだったため、休日や夜間の対応が課題だった。今回の仕組みでは24時



みまもりあいステッカー（ミモカ）。持ち物に貼ったり、衣類などに縫いつけることができる。問い合わせは、高齢者支援課 06-6858-2235まで。

間、利用者と発見者が直接やりとりできるため、より早期の発見・保護につながる。年間利用料は3,600円で、初回利用時のみ初期費用2,000円を市が負担。ステッカー48枚が交付される。市は今後、様々なイベント等を通して住民へのPRを行うほか、模擬訓練なども実施する予定。担当者は「徘徊時の家族の精神的・身体的な負担軽減につながれば」と期待を寄せる。

## 北急新駅駅前複合施設 71万冊の図書館など建設

**箕**面市は、2020年度に北大阪急行電鉄の延伸区間に新設される（仮称）箕面船場駅前に、文化ホールや図書館、生涯学習センターが一体となった複合施設を建設する。施設の規模は、延べ床面積約2万6800平方メートル。1～4階に文化ホール、その横には図書館が入り、箕面市の蔵書と



駅前広場の完成予想図。

近くに移転予定の大阪大学箕面キャンパスの蔵書とあわせて71万冊の所蔵が予定されている。5、6階は生涯学習センターで、地下は駐車場となる。今年度に設計を行い、来年度に着工、2021年4月の開業を目指す。

## 食物アレルギー対応の飲食店 箕面市のホームページで紹介

**食**物アレルギーがある人にも安心して外食してもらおうと、箕面市は食物アレルギーに対応する市内の飲食店を市のホームページで紹介する取り組みをはじめた。市の栄養士が店を訪れ、店主などから食物アレルギーの対応状況を聞き取り、試食したレポートや料理、店内の写真の情報を掲載する。現在は3店舗だが、順次増やしていく予定。

卵・小麦・牛乳が3大アレルゲンといわれているが、原因食物やその反応の強さは人によって様々で、外食に悩む人も多い。同市でも、食物アレルギーがある子どもの保護者から、市内で外食できる飲食



店を探すのが難しいという声が寄せられていた。

紹介店舗には年に一度訪問して、対応状況に変更があれば随時情報を更新していくという。担当者は「今回の取り組みをきっかけに食物アレルギーに配慮した飲食店が増え、家族みんなで同じ食事をとる機会が増えることを期待している」と話す。

## 関西大学発の起業が年間30件超 経産省から表彰

関西大学（以下、以下関大）と株式会社関西TSUTAYAの共同で展開する「スタートアップカフェ大阪」が、経済産業省の「創業機運醸成賞」を受賞した。同賞は、創業に関心をもちたせる継続的な取り組みを表彰するもの。開設から1年余りで累計相談者数1,268名、創業件数32社という実績が評価された。

関大梅田キャンパス内にある同カフェは、2016年10月に開設され、起業に関するセミナーの実施や参加者同士の交流を促進する起業支援の拠点だ。同大学の学生のみならず、誰でも気軽に無料で、常駐するコーディネーターに相談ができる。時代の流れに合わせて、多様なキャリア教育を再考した関大が、かねてより起業支援を行っていた同社に相談したことがきっかけで開設に至った。



カフェの一角に設けられた相談スペース。予約不要で、誰でも気軽に利用できる。毎月第3木曜日は、司法書士など専門家からのアドバイスも受けられる。

数を増やすことではありません。教育機関として、自分らしく働くために、生き方のひとつとして、起業という選択肢もあることを伝えたい」と関西大学スタートアップ支援事業マネージャー財前英司さんは話す。また、「起業する人が増えれば、関西の産業活性化にもつながると考え、学生に限定せず、幅広い層に門戸を開いています」。多種多様な価値観が交錯することで新たな気づきや発想が生まれるとの考えから、一般にも広く開放したオープンスペースとなっている。

起業は目的ではなく、実現したい目的のための手段であると考える同カフェ。カウンセリングでは、「なぜ起業したいのか」や「意義」など、意思を掘り下げる対話を重視する。「起業は継続が鍵です。そのために、何度も“wantやwill”を確認します。意思が強固になれば、起業後、仮に立ち行かないことがあっても、踏ん張れるのです」と、起業後も長く事業を継続できるように支援を目指している。

### より豊かな人生を 選択するため

**受**賞の評価ポイントは相談者数や創業件数などの実績ではあるが、「本来の目的は起業



各種セミナーや交流会、ビジネスコンテストなどのイベントも数多く実施。

## 自転車の通行ルールを徹底しよう

協力:大阪府警察



大阪府下での自転車関連事故は減少傾向にあるが、自転車対歩行者の事故件数については、平成28年の289件だったのに対し、平成29年は351件と前年比で+62件と増加している。

4月から新生活が始まり、通勤や通学で自転車を頻繁に利用し始める人が多くなるこの時期。大阪府警では、平成30年1月から「自転車左側通行徹底キャンペーン」を実施している。改めて自転車の運転者としての自覚を持ち、安全に自転車を利用しよう。

### 【自転車の通行に関するルール】

- 自転車は道路交通法上「軽車両」として分類され、自動車やバイクと同じ「車両」と規定されている。
- 車両扱いとなるため、歩道と車道の区別のある道路では、車道を通行しなければならない。
- 車道では左側の端に寄って通行しなければならない。

### 【例外として歩道を自転車で行ける場合】

- 「自転車歩道通行可」の標識等がある歩道
- 自転車を運転している人が13歳未満の子どものみ
- 70歳以上の高齢者・身体の不自由な人である場合
- 道路工事を行っている時、駐車車両や通行量が多いなど、車道を安全に通行できない場合

大阪府警の  
自転車対策に  
ついては  
HPでご確認を。

